

である、ておく、ている

- ～を Transitive V+ておく : an action performed in preparation for something.
- ～が Transitive V+である : a state resulting from the previous intentional action.
- ～が Intransitive V+ている : a current state resulting from the change.

「～である」と「～ておく」と「～ている」の中でどれが一番いいですか。  
まるをつけて(circle)ください。

1. 道にお金が {落<sup>お</sup>としてあります・落<sup>お</sup>としておきます・落<sup>お</sup>ちています}。
2. このヘッドホンは {壊<sup>こわ</sup>してある・壊<sup>こわ</sup>しておく・壊<sup>こわ</sup>れている} から、返<sup>へん</sup>品<sup>びん</sup>しようと思う。
3. もうすぐ友<sup>だち</sup>達が来るので、ドアが {開<sup>あ</sup>けてあります・開<sup>あ</sup>けておきます・開<sup>あ</sup>いています}。
4. 冷蔵<sup>れいぞう</sup>庫<sup>こ</sup>からアイスクリームを {出<sup>で</sup>してあり・出<sup>で</sup>しておき・出<sup>で</sup>してい} ましょう。
5. そのいすは {汚<sup>よご</sup>してあります・汚<sup>よご</sup>しておきます・汚<sup>よご</sup>れています} から、座<sup>すわ</sup>らないで下さい。
6. 停<sup>てい</sup>電<sup>でん</sup> [blackout] なので、電<sup>でん</sup>気が {消<sup>け</sup>してあります・消<sup>け</sup>しておきます・消<sup>け</sup>えています}。
7. 教室に世界<sup>ち</sup>地<sup>ず</sup>図<sup>ず</sup>が {貼<sup>は</sup>ってあります・貼<sup>は</sup>っておきます・貼<sup>は</sup>っています}。
8. 明日、弟<sup>おとうと</sup>に {連<sup>れん</sup>絡<sup>らく</sup>してある・連<sup>れん</sup>絡<sup>らく</sup>しておく・連<sup>れん</sup>絡<sup>らく</sup>している} つもりだ。
9. 台<sup>だい</sup>所<sup>どころ</sup> [kitchen] には消<sup>しょう</sup>火<sup>か</sup>器<sup>き</sup> [fire extinguisher] が {置<sup>お</sup>いてあつた・置<sup>お</sup>いておいた・置<sup>お</sup>いていた}。
10. あなたのことは、先生に もう {話<sup>わ</sup>してあります・話<sup>わ</sup>しておきます・話<sup>わ</sup>しています} から、心<sup>しん</sup>配<sup>ぱい</sup>しないでください。大<sup>だい</sup>丈<sup>じょう</sup>夫<sup>ぶ</sup>ですよ。